

齊藤嘉和



### 今年の無人ヘリによる防除はなぜ中止なのか!



町長

健康や食の安全等  
総体的に判断した



出番がなくなった無人ヘリコプター

**質問** 玉村町無人ヘリコプター・病害虫防除協議会(以下「協議会」という)を実施主体とする無人ヘリコプターによる水稲への農薬の散布についてはどう考えているか。

**答弁** 町長 さる2月29日に開催された協議会において、平成28年度より実施しないことに決定した。

今後は、農家への周知・指導・支援を行っていく。また、中止

による農業及び環境への影響などを検証していく。

**質問** 農家にとっては大変唐突な感じがする。今までは、面積が100ヘクタールを下回ったらやめるということが言われ続けてきた。答弁では、散布面積の割合が低下しているとあった。私は、近年140ヘクタール前後で推移していると聞いているか。

**答弁** 経済産業課長 おおむねそのとおりである。

**質問** なぜ、いま中止なのか。町長の公約だからとも聞

**答弁** 町長 公約云々と言ったことはない。消費者の考

え方、生産者の考え方、双方の共通点を見出す中で地域は成り立っていく。

### 「大幅な人口減で財政の破綻も」と言いが

**質問** 町長は選挙戦で町の現状について「大幅な人口減

少、財政難、10年後には財政破綻の可能性も出てきている」と言いが。

**答弁** 町長 人口減少とともに少子高齢化は進行し、社会保障関係費の増加をはじめ、老朽化した施設の整備など、多くの財源を必要とし、課題は山積している。さらに厳しい財政運営が続くと予想される。

**質問** 平成15年からの11年間で大幅な人口減少率は約3%で、10年後には財政破綻の可能性、とは町民を不安に陥れる言葉ではないか。撤回してほしい。

**答弁** 町長 後援会の内部資料での文言であり、関知していない。

こんな質問もしています

・ 施政方針を聞いて

### 質問

本町と周囲の前橋、高崎、伊勢崎、新町との連携は、公共交通・新交通システムを大きな道路にあわせて考えてはどうか。

**答弁** 町長 大事なことだと思う。交通がよくなると便利になるだけでなく、生活のグレードが上がります。文化が道路を

通り次に伝わる。BRT(バス高速輸送システム)も含めて、利用可能か、町としての考えを早急に検討していく。近隣市との都市間交通は住民の要望を踏まえ対応していきたい。

### 2学期制の成果を問う

**質問** 町の教育は子どものことを考え、全国的な視点で2学期制の検証を。

**答弁** 教育長 2学期制の実施から10年が経過し、改めてこれまでの取り組みを検証しながら、子どもたちのための学期制のあり方を教育委員会として考えていきたい。

### ガラス・陶磁器・木質ごみの資源化でどう変わる!



町長

最終処分量が減少!  
ごみの出し方に変更はない



リサイクルが進むクリーンセンター

**質問** ガラス・陶磁器・木質ごみの分解・資源化の取り組み内容及び最終処分の減少量はどうなるか。また、ごみの出し方は変わるのか。

**答弁** 町長 ガラス・陶磁器くず資源化事業は、リサイクルセンターで選別し、最終的にリサイクルできない残渣物を草津町の最終処分場に運び埋め立て処分している。今後はガラ

ス・陶磁器くずを千葉県銚子市にある工場で粉砕し、排水性の高い埋土用資材に再生処理する。不燃残渣約100トンのうち約9割が再生可能となり、最終処分量は10トン程度となる。また、木質ごみは、前橋市の燃料化施設に処理委託する。これにより灰の最終処分量が60トン程度削減となる。

なお、ごみの出し方に大きな変更はないが、木質ごみは枝木の太さや長さが緩和される。

### 地域間連携や交流の推進

**質問** 隣接自治体との連携や交流では、広域での開発を考慮した人事交流が重要かと思うか。

**答弁** 総務課長 収納関係や土木技術に関して、前橋市や群馬県と人事交流を実施している。今後は幅広く相手先を検討していきたい。